

令和元年度第2回埼玉医科大学病院医療安全業務監査委員会議事要旨

日 時：令和2年2月6日（木）17:00～18:45

場 所：本部棟2階会議室

出席者：森本義博（委員長） 水谷渉 栗田博 片山茂裕 田中寿

議事要旨

各担当者より今年度対応報告次年度計画等報告があった。

1 高難度医療技術評価管理について

厚労省ホームページ内掲載の高難度医療技術に関する規定に沿って、既存の医療技術を用いた医療、集中治療室などの設備体制、医師と麻酔科医との連携などの報告があった。症例報告としては血管外科症例や術式として喉頭形成術等の報告があった。各委員からの質疑に関して特になし。

2 院内感染対策について

昨年1月からの薬剤耐性菌報告が高推移であると報告があった。手指衛生遵守率、抗菌薬届出率等の報告があった。活動報告として6病院と年4回会議の実施、感染病床対応準備、外部受講者への教育、帰国者・接触者外来を2月中に作る予定と報告があった。事業計画として手指消毒率75%以上、MRSA分離率低減等の報告があった。令和2年度として行政を含めた搬送訓練の予定報告があった。

委員より感染病床が早期稼働可能か確認あり、すぐに稼働できるよう準備が来ていると報告があった。

3 未承認新規医薬品等評価部門

事例報告として2件あり申請にあたった背景や審査結果等の報告があった。

今年度の申請3件のうち使用例は2件あり経過良好との報告あり。

各委員からの質疑に関して特になし。

4 医薬品安全管理部門

試薬などを用いた院内製剤について審議やIRB承認の適応外申請についてどのような所定の委員会で審議された内容報告があった。今年度11件の申請有り、審査すべて適当との報告があった。医療法25条の立入検査で医薬品安全使用の業務手順書に記載がなかったと指摘有ったとの報告があった。麻薬取締検査については問題なし。私立医大間相互ラウンドについて、注射薬調剤所に携帯用酸素ボンベが据え置きされている点、医薬品冷所保管庫が処置室内に設置されている点について改善が望ましいと指摘があった。疑義照会重要事例ではインスリン処方における投与指示単位間違いなどがあり患者が不利益にならないよう努めていると報告があった。

各委員からの質疑に関して特になし。

5 医療機器安全管理部門

医療法 25 条立入検査で研修にについて指摘があり復職者中途採用者の研修は就業前に実施するのが望ましいと指摘があったと報告あった。医療機器の研修について新入職員採用の際以外に病棟から要望があった際その都度実施予定。点検済み機器の返却についての割合報告や生態情報モニターの音量改造報告があった。放射線部門でも研修や勉強会等の報告や点検実施状況の報告があった。次年度の研修や機器点検計画の報告もあった。

各委員からの質疑に関して特になし。

6 医療情報管理部門

入院サマリーの完成状況件数チェックやアレルギー情報などのチェック報告、診療録コピー件数や DWH 抽出件数などの報告があった。医師サマリー作成状況について 2 週間以内で 100%達成、1 週間以内では 93%達成と報告があった。

外部委員より電子カルテ上のアレルギー情報入力について進捗状況の確認があった。

7 医療情報管理部門

インフォームドコンセントのモニタリング結果報告や内容報告があり過去と比べ改善されていると報告があった。月 10 件ほどのカルテ開示件数があり傾向としては、B 型肝炎訴訟についての依頼が増加傾向にあると報告あった。

外部委員よりインフォームドコンセントの実施率の確認があった。

8 医療安全対策部門

ヒヤリハット、インシデントアクシデント報告については月平均 400 件程度あり、年間 5000 件程度あると報告があった。ヒヤリハット報告では医師が 10%以上報告されている。日本医療評価機構への報告（患者影響度レベル 3 b 以上）が今年度 21 件、死亡事例はなし、研修の実施は年間 30 回以上開催と報告があった。次年度計画については医療安全対策室員に診療放射線技師増員予定。

外部委員より医療相互ラウンドはいつから実施しているか確認、医療法 25 条での指摘事項確認があった。

講評

特に問題なし。引き続きの医療安全に従事するよう指示があった。